1.はじめに（原案からの検討）
2.A案（配置平面、立断面・パース）
3.B案（配置平面、立断面・パース）
4.プール位置検討比較表
5.段階ごとの整備手順および動線計画図
6.整備工程表
7.多目的室１検討図

【はじめに】

町田市立鶴川第一小学校改築工事基本設計を進めるにあたり基本計画（原案）で想定される課題について検討しました。

1.南側住宅地との離隔距離について

（原案）では、南側に配置する校舎の圧迫感を軽減するため、階数を２階建てとしている。

基本設計では、原案に基づき南側を２階建てとし、上部階も少しでも圧迫感を軽減できる様に検討した。

2.学童保育クラブの解体・配置等について

（原案）では、改築校舎を建てるに当たり、最初に解体が必要となる。また、工事中には仮設建物が必要となり、校舎完成後に新しい学童保育を建てなければならない。

基本設計では、学童保育建設位置の検討をおこない、既存プール跡地に整備する方針で検討した。

3.給食棟へのアプローチについて

（原案）では、緩やかなカーブの始まる地点を車輌出入口にしており、児童の通学路にも近く安全面が懸念される。
また、敷地出入口と給食棟搬入口に高低差があり、アプローチの方法や構造等でさらなる検討が必要になる。

基本設計では、敷地北西の既存の信号を活用して車輌出入口を１ヶ所に限定し、歩車分離のアプローチで児童の安全面に配慮すると共に、高低差が少なくアプローチが容易となるように検討した。

4.プールの覗き対策・既存体育館敷地、解体後の有効活用について

（原案）では、既存体育館跡地にプールを設けており、西側道路（歩道を設ける）からの覗き・撮影が心配される。

基本設計では、改築校舎として一体的に整備出来ないか、また他の活用方法がないか検討した。

5.敷地内北側の有効な活用について

（原案）では、既存校舎を生かしたままの計画のため、校地内の北側にスペースが広く空いてしまう。

基本設計では、給食室等を北側に配置し、出来る限り無駄なスペースが生まれないように検討した。

6.体育館の暑さ対策について

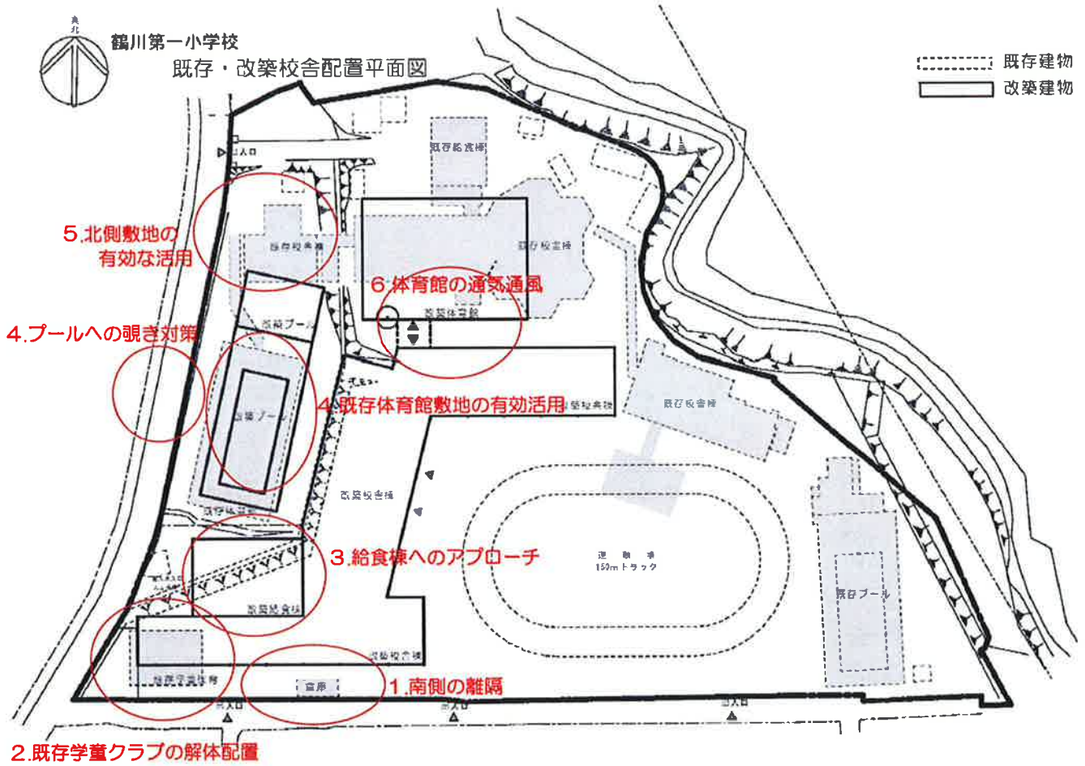
（原案）では、ピロティを設けて、南側からの風を取り入れている。

基本設計では、南側だけでなく様々な方角からの通気・通風を考慮するよう検討した。

7.校庭の広さ確保について

（原案）と既存の校庭の広さを比べるとだいぶ狭くなる。（約1,000㎡）

基本設計では、出来る限り校庭の広さを確保できるように検討した。



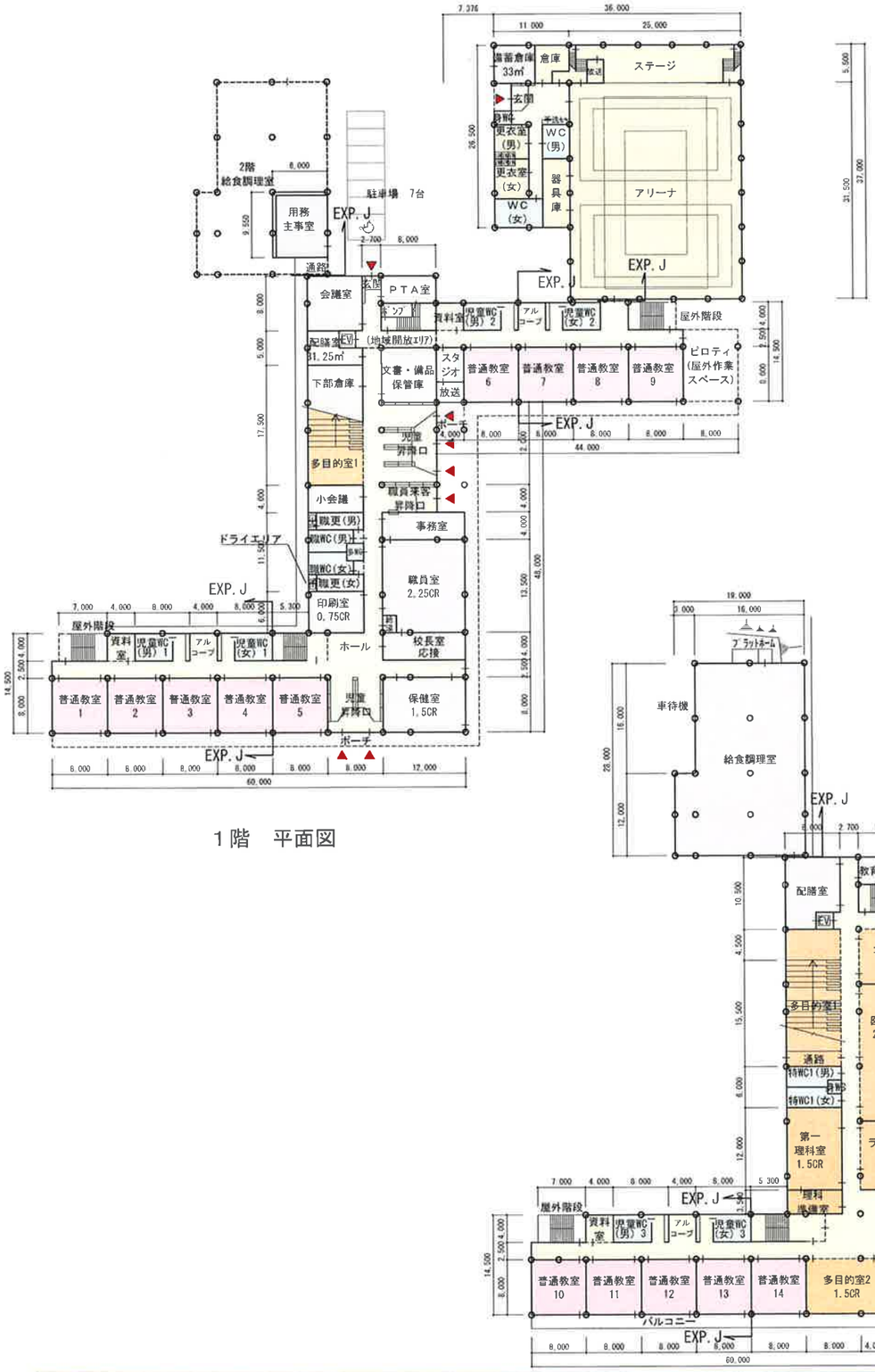
改築基本計画時　配置図

■床面積

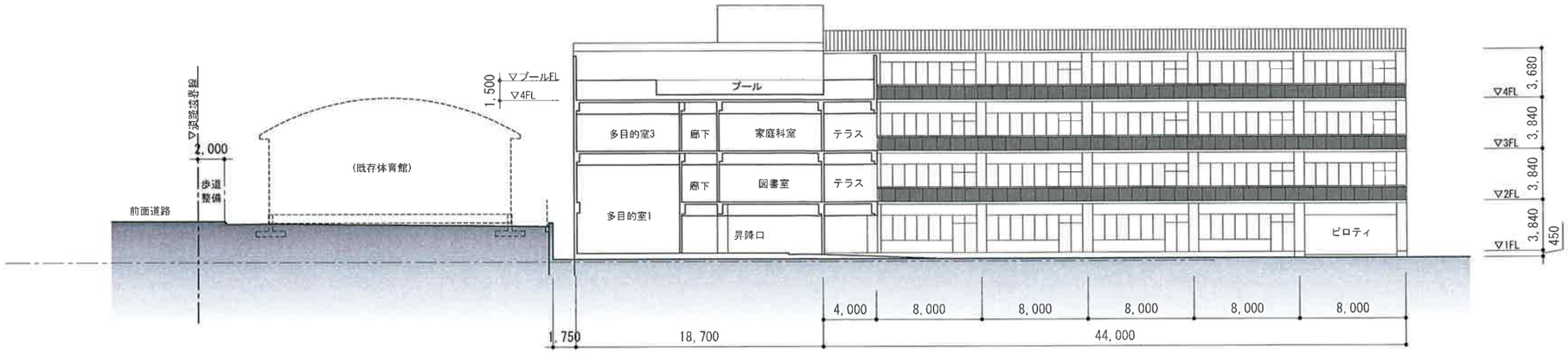
校舎	
R階	32.00㎡
4階	739.55㎡（ﾌﾟｰﾙを除く）
3階	1,703.60㎡
2階	2,406.40㎡
1階	2,530.80㎡(ﾋﾟﾛﾃｨ84㎡含)
小計	7,412.35㎡
体育館	1,206.50㎡
ﾌﾟｰﾙ	162.35㎡
給食調理室	484.00㎡
合計	9,265.20㎡

≒ ：現況地盤高さを示す

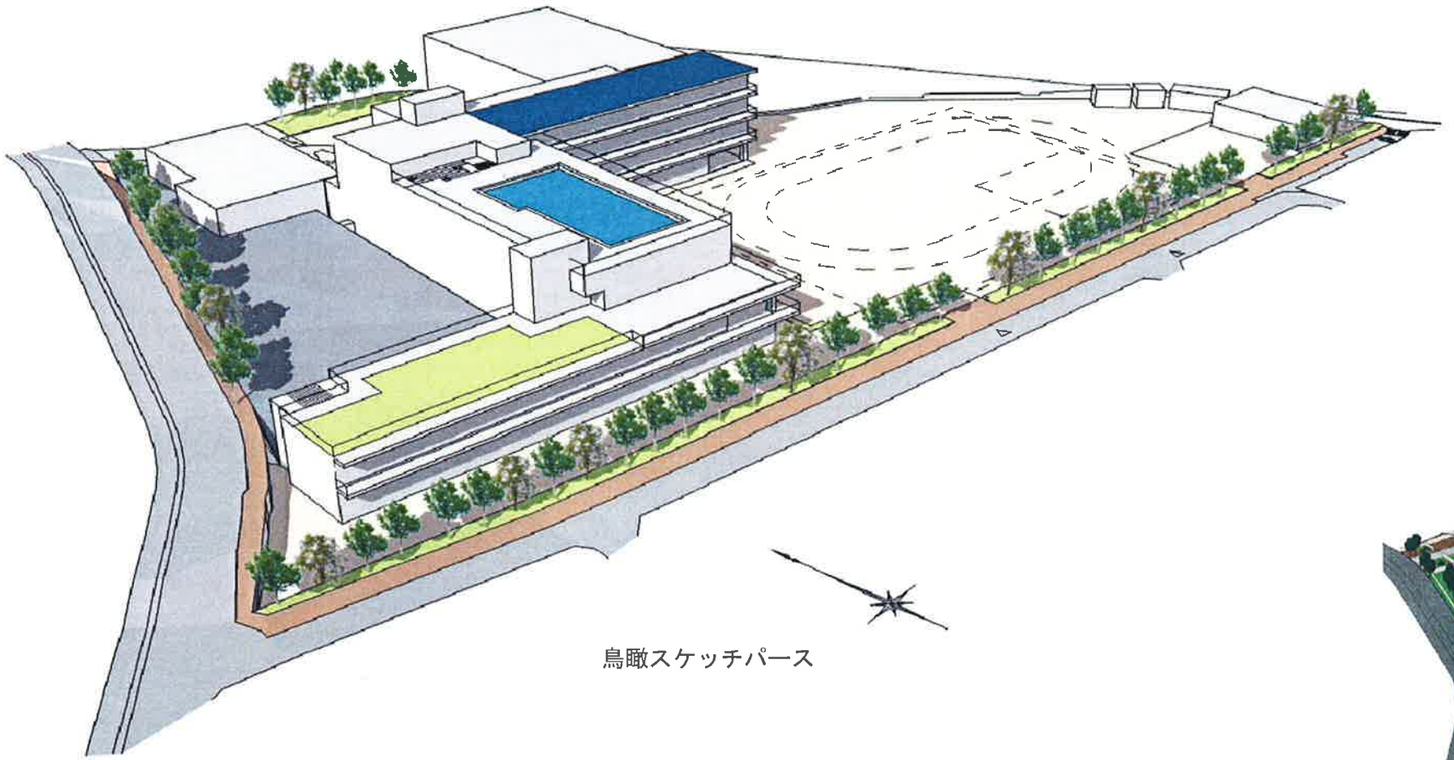
A案　配置図　S＝1：600


2階
給食調理室
駐車場 7台
用務
主事室
EXP. J
通路
会議室
PTA室
ソファ
資料室
児童WC（男）2
アルコーブ
児童WC（女）2
屋外階段
配膳室
31.25㎡
EV
（地域開放エリア）
下部倉庫
文書・備品
保管庫
スタジオ
放送
普通教室
6
普通教室
7
普通教室
8
普通教室
9
ピロティ
（屋外作業スペース）
ポーチ
児童
昇降口
多目的室1
小会議
職員来客
昇降口
事務室
職更（男）
職WC（男）
職WC（女）
職更（女）
ドライエリア
印刷室
0.75CR
校長室
応接
ホール
職員室
2.25CR
保健室
1.5CR
普通教室
1
普通教室
2
普通教室
3
普通教室
4
普通教室
5
資料室
児童WC（男）1
アルコーブ
児童WC（女）1
屋外階段
蓄電倉庫
33㎡
倉庫
ステージ
放送
玄関
更衣室（男）
WC（男）
更衣室（女）
WC（女）
器具庫
アリーナ
EXP. J
1階　平面図
車待機
給食調理室
フラットホーム
教育相談室
配膳室
資料室
児童WC（男）4
アルコーブ
児童WC（女）4
屋外階段
コンピューター室
1.5CR
普通教室
15
普通教室
16
普通教室
17
普通教室
18
普通教室
19
バルコニー
多目的室1
図書室
2.5CR
テラス
通路
特WC1（男）
特WC1（女）
司書室
第一
理科室
1.5CR
ランチルーム
・学習室
2.0CR
理科
準備室
第二
理科室
1.5CR
普通教室
10
普通教室
11
普通教室
12
普通教室
13
普通教室
14
多目的室2
1.5CR
ワーク
テラス
2階　平面図
ROOF
ステージ上部
アリーナ上部
（室外機スペース）
配膳室
43.25㎡
特別支援
教室
倉庫
陶芸
窯室
児童
会室
普通教室
20
普通教室
21
普通教室
22
普通教室
23
普通教室
24
多目的室3
2CR
家庭科室
1.5CR
ワーク
テラス
特WC2（男）
特WC2（女）
家庭科
準備室
図工準備室
0.75CR
第二
図工室
1.5CR
第一図工室
1.5CR
第二
音楽室
1CR
音楽
準備室
第一
音楽室
1.5CR
屋上緑化
庇
3階　平面図
配膳室
43.25㎡
地域開放エリア
機械
更衣（男）
更衣（女）
WC
倉庫
普通教室
25
普通教室
26
普通教室
27
普通教室
28
普通教室
29
スロープ
シャワー
25Mプール
6コース
4階　平面図

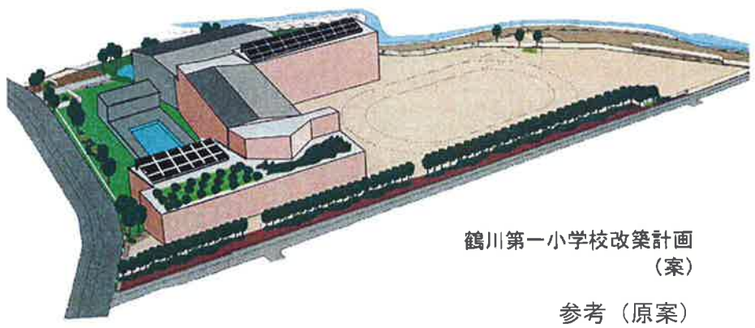
A案　平面図　　S＝1：800



立断面図　　1:400

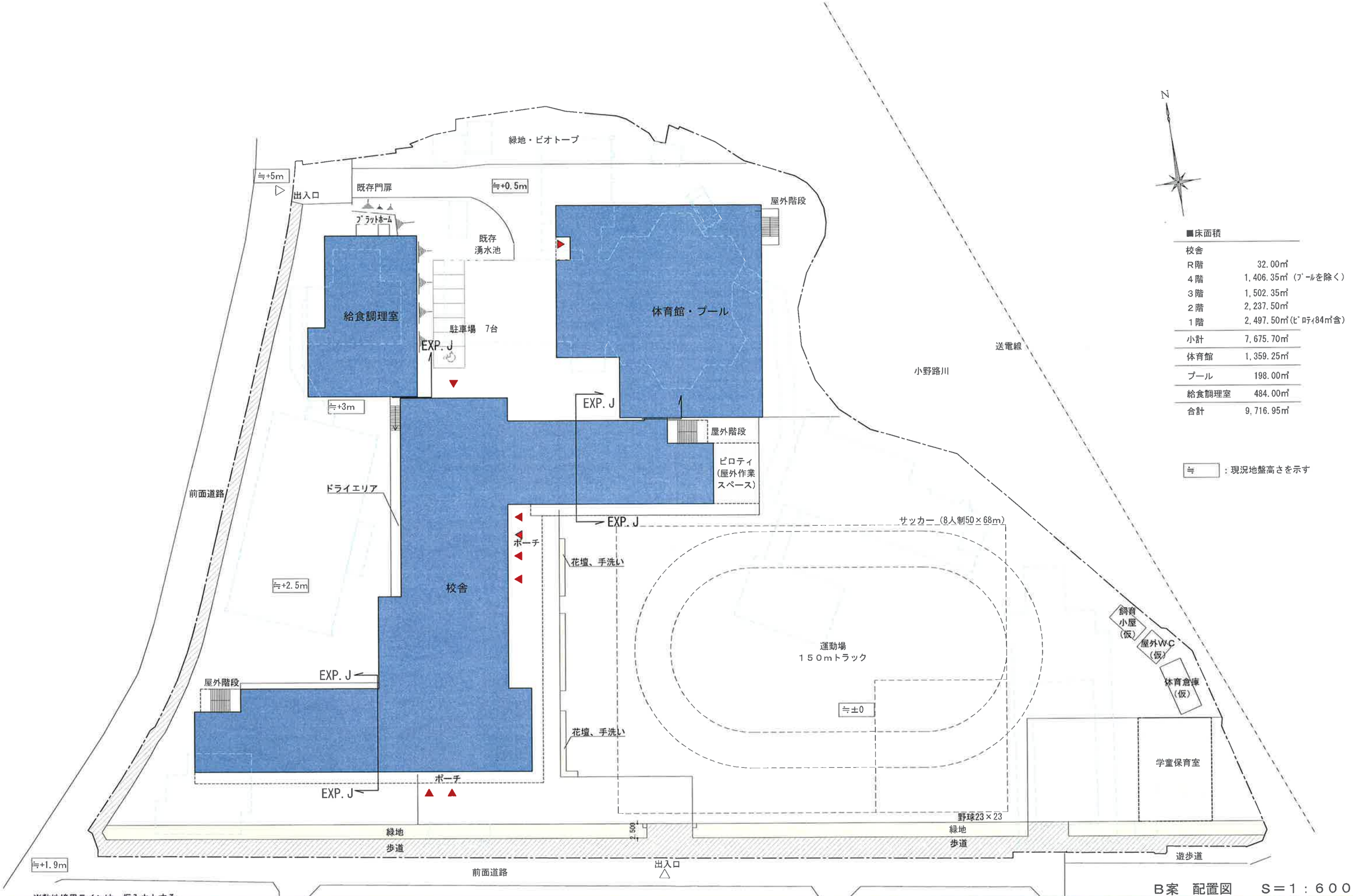


鳥瞰スケッチパース



鶴川第一小学校改築計画
（案）

参考（原案）



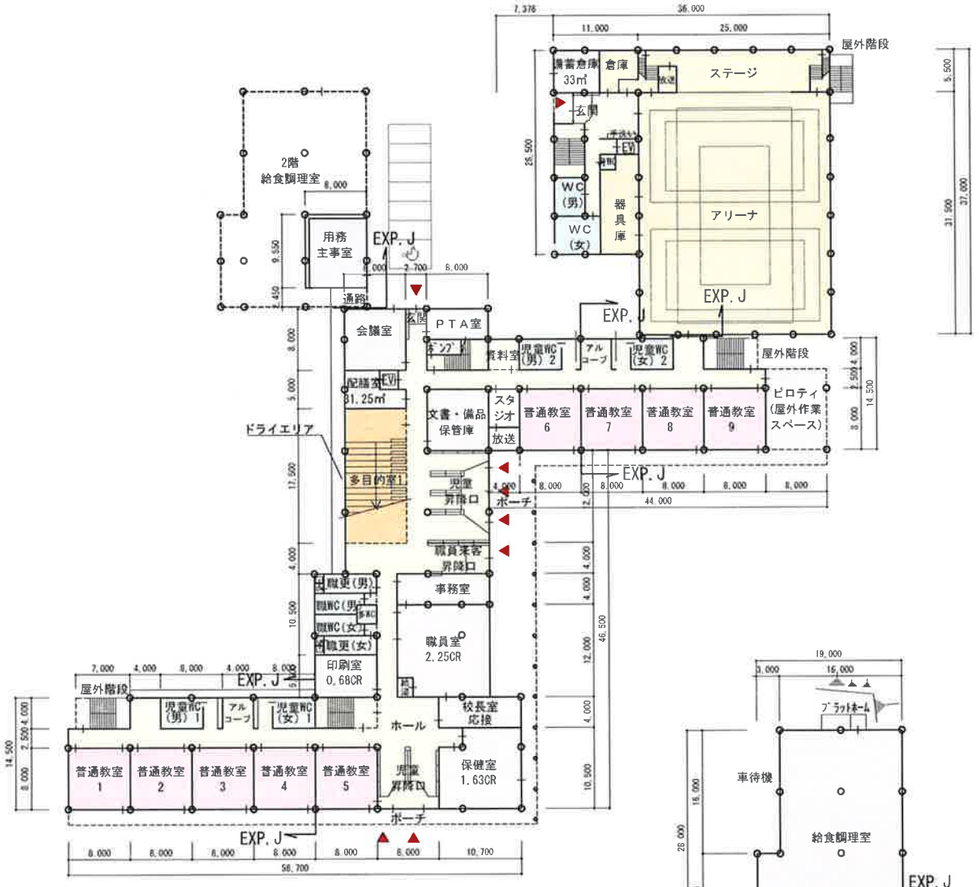
■床面積

校舎	
R階	32.00㎡
4階	1,406.35㎡（ﾌﾟｰﾙを除く）
3階	1,502.35㎡
2階	2,237.50㎡
1階	2,497.50㎡(ﾋﾟﾛﾃｨ84㎡含)
小計	7,675.70㎡
体育館	1,359.25㎡
プール	198.00㎡
給食調理室	484.00㎡
合計	9,716.95㎡

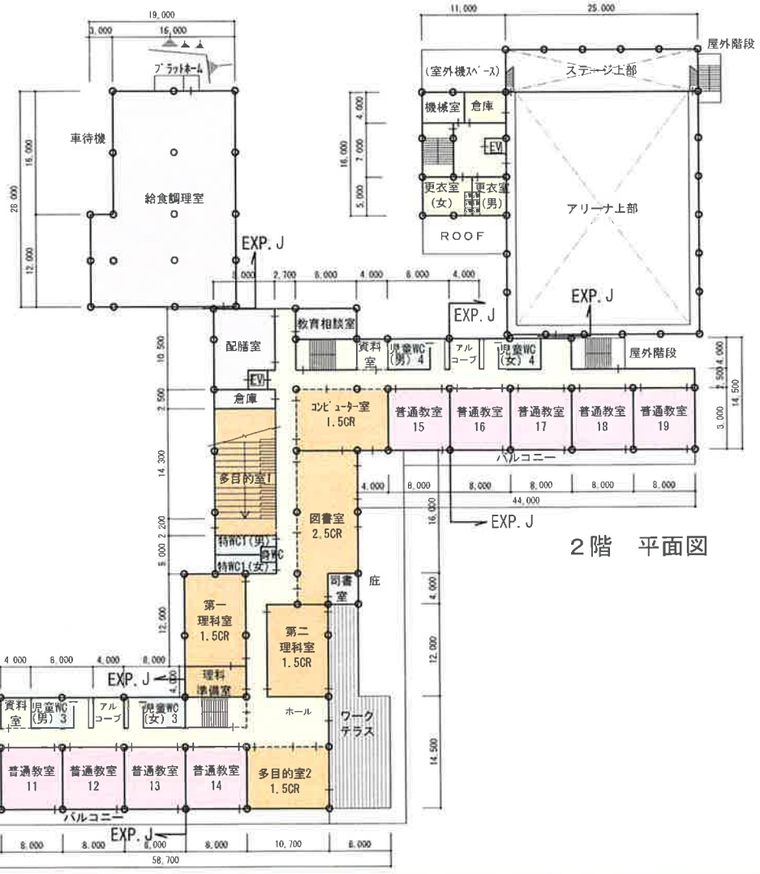
≒ ：現況地盤高さを示す

※敷地境界ラインは、仮入力とする。

B案　配置図　　S＝1：600

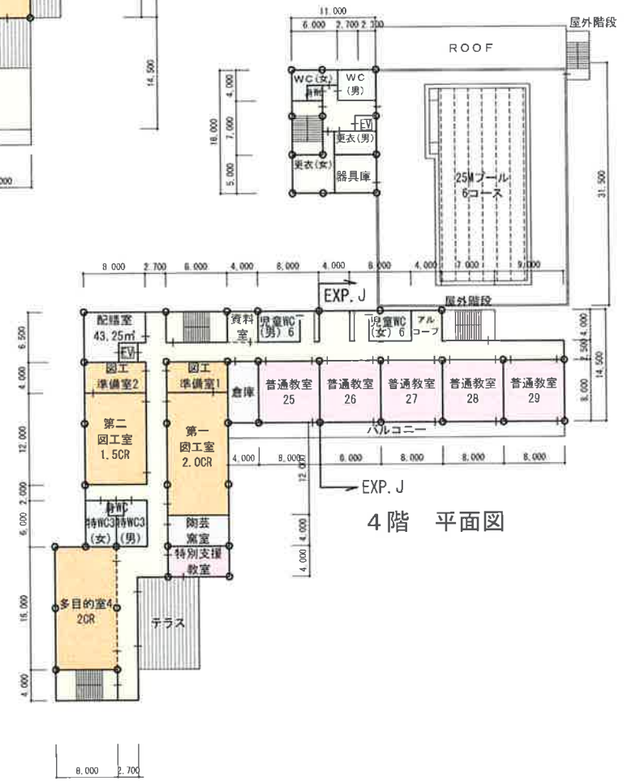


1階　平面図



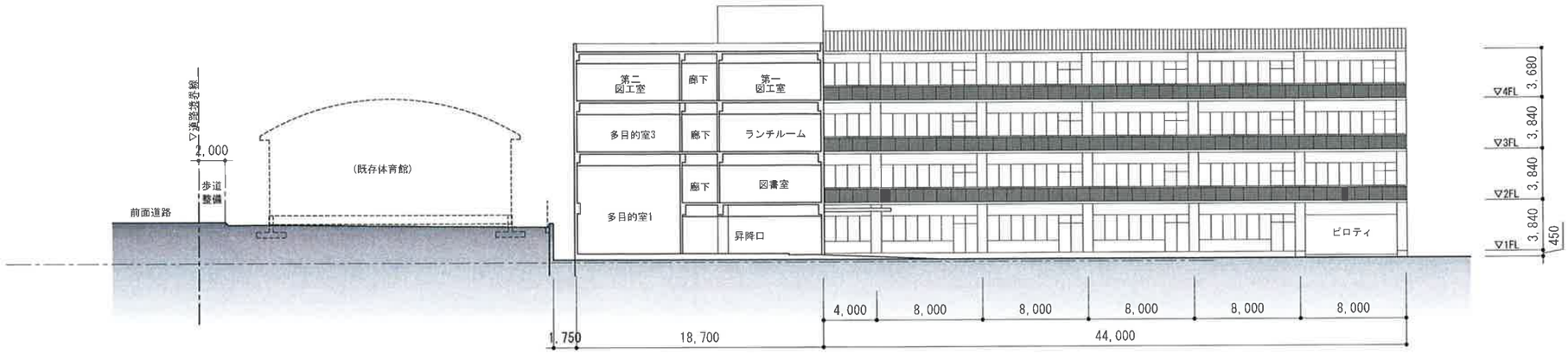
3階　平面図

2階　平面図

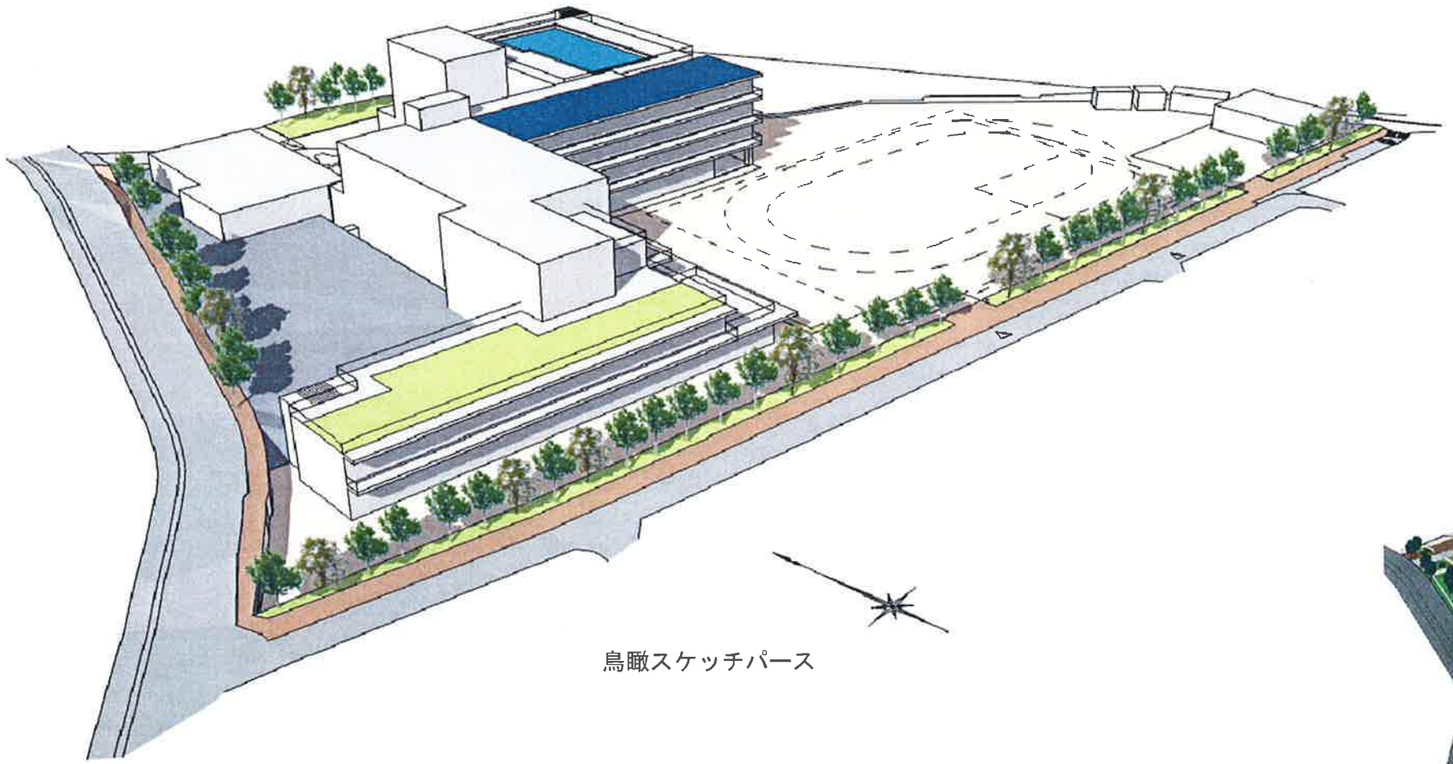


4階　平面図

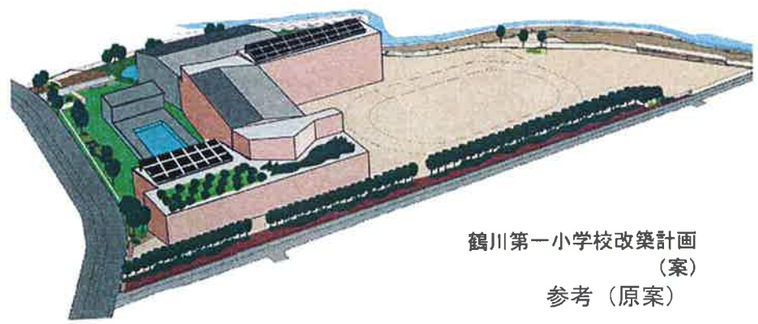
B案　平面図　　S＝1：800



立断面図　　1:400

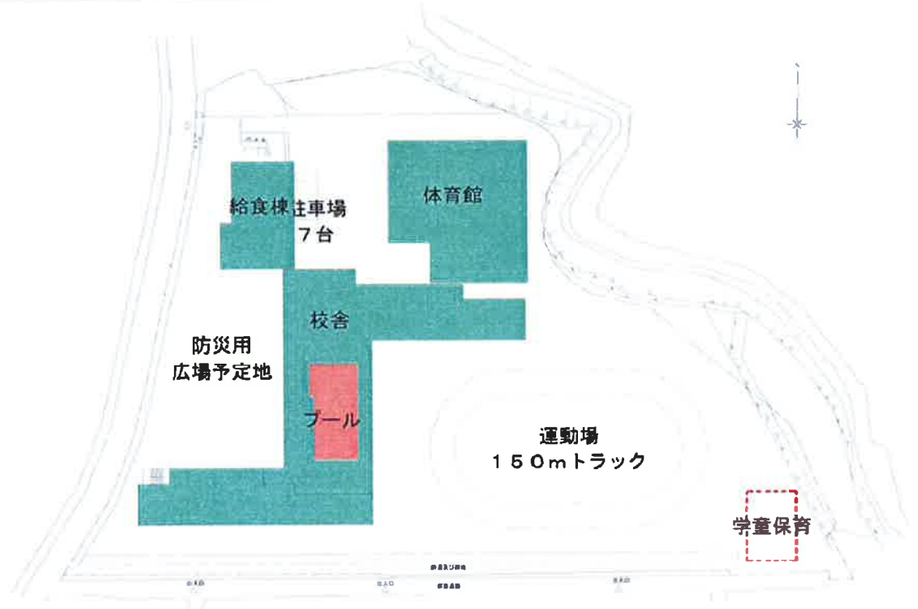
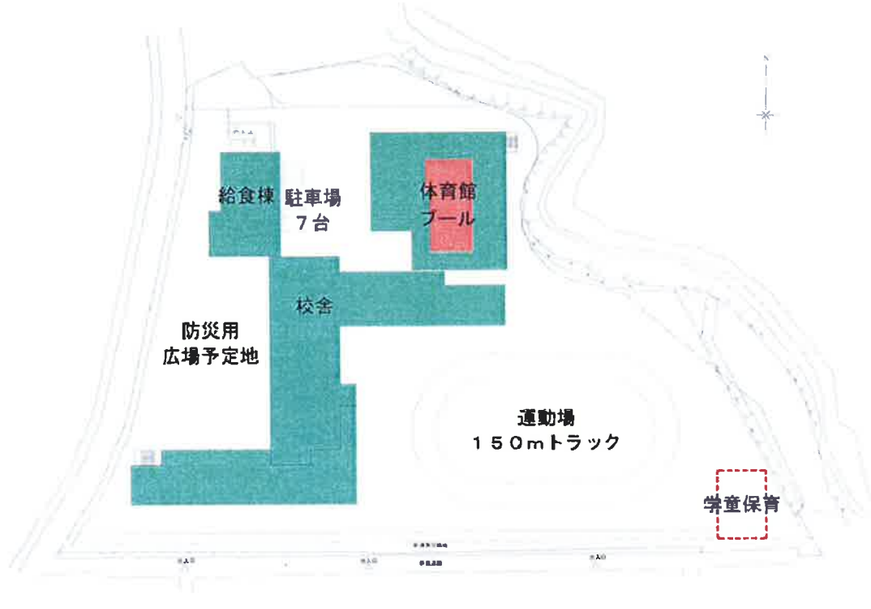


鳥瞰スケッチパース



鶴川第一小学校改築計画
（案）
参考（原案）

B案　立断面図　鳥瞰スケッチパース

		校舎屋上プール　A案		体育館屋上プール　B案	
配置案					
プール閉鎖期間		1～2シーズン（2014～2015年度）	◎	3～4シーズン（2014～2017年度）	△
比較	周囲からの視線	プールは屋上のため周囲から見えない。	◎	プールは屋上のため周囲から見えない。	◎
	南側隣地への配慮	中央棟は、３階建であるがB案より南寄りとなる。 （P3_パース参照）	○	中央棟が４階建となる。 （P6_パース参照）	○
	校舎採光	プールを屋上に整備するため、下階は整形の建物となる。	○	校舎棟の制約がないため、採光に配慮した建物形状にすることが可能。	◎
	スロープ	更衣室等とプールサイドの高さが異なる為、スロープの処理が必要。	△	更衣室等とプールサイドの高さを揃える事が可能。	○
	地域開放	校舎の一部を区画し、地域開放を行うことが可能	○	地域開放エリアをまとめることができるため、管理がしやすい。	◎
	校舎からの児童動線	校舎内にプールが整備されるため、教室からの移動が短い	◎	プールへは、体育館付属棟より移動するため、児童動線は長くなる。	△
	エレベーター	校舎と一体的に利用できるため、エレベーターを兼用可能。	◎	プール用の専用エレベータを設置する必要がある。	△
	下部構造	校舎の下部構造に荷重の影響があるが、柱の間隔が短いため、構造影響が少ない。	○	体育館の大空間を確保するために、下部構造に大きく影響する。	△
	外構・校庭	体育館の跡地を防災広場等として利用可能。	◎	体育館の跡地を防災広場等として利用可能。	◎
	コスト		○		△
総評		○		○	

プール位置検討比較表

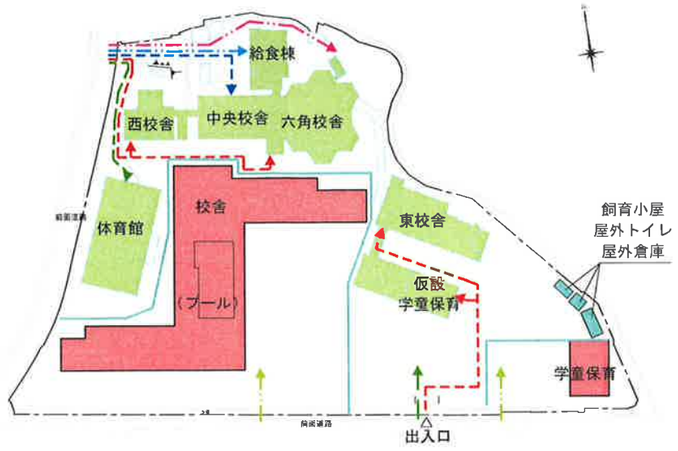
手順①（既存）

プール解体（中学校利用）
屋外倉庫解体新設、飼育小屋移設、屋外トイレ新設

２０１４年度
解体整備　４か月

手順②

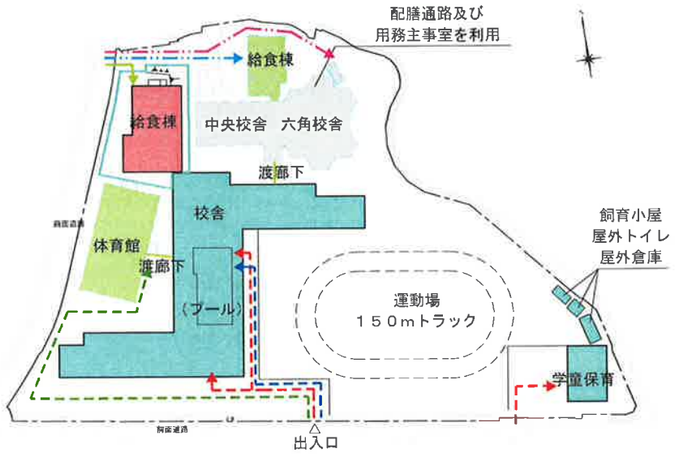
校舎（屋上プールを含む）を整備
学童保育整備



２０１４年度～２０１５年度
整備１３ヶ月

手順③

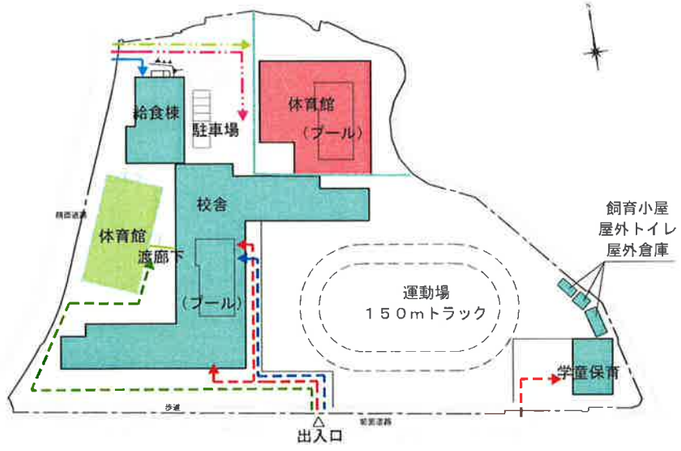
西校舎及び東校舎解体
運動場を整備
給食棟を整備
（※中央校舎及び六角校舎は、解体せず給食棟からの通路として利用）



２０１５年度～２０１６年度
解体整備９ヶ月

手順④

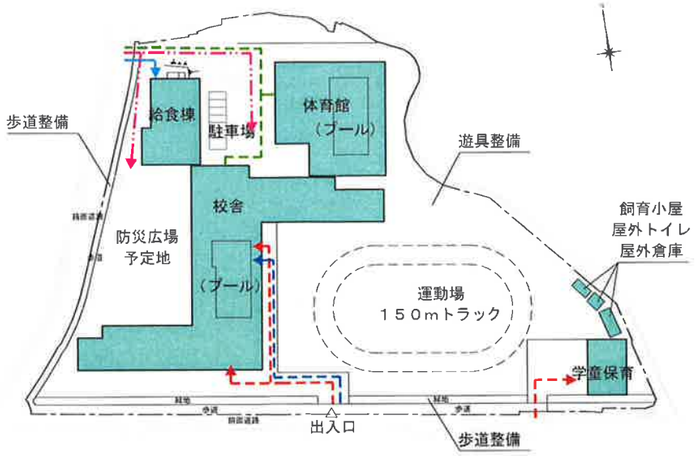
給食棟、中央棟及び六角校舎解体
体育館（プール整備）



２０１６年度～２０１７年度
解体整備１３ヶ月（１５ヶ月）

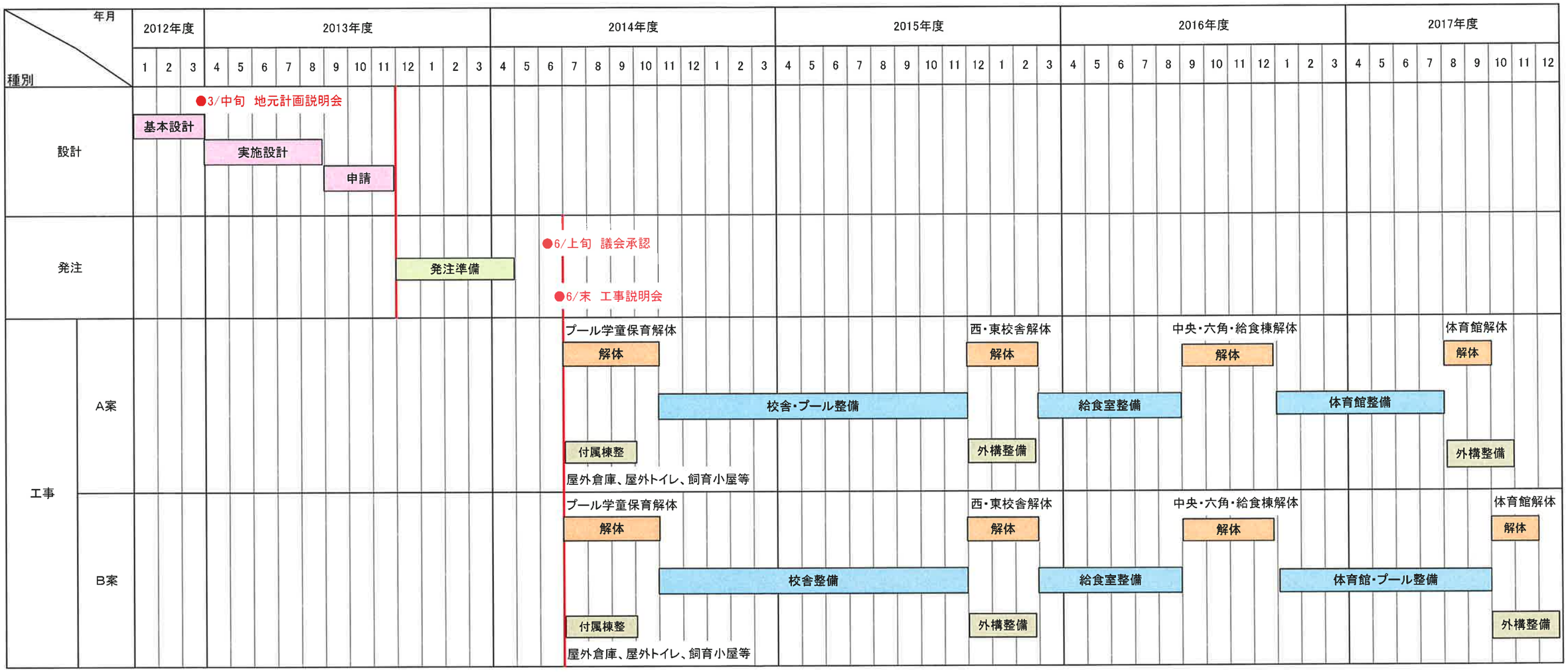
手順⑤（竣工）

遊具整備
歩道整備　植栽外構整備



２０１７年１０月～１２月
完成

段階ごとの整備手順および動線計画図

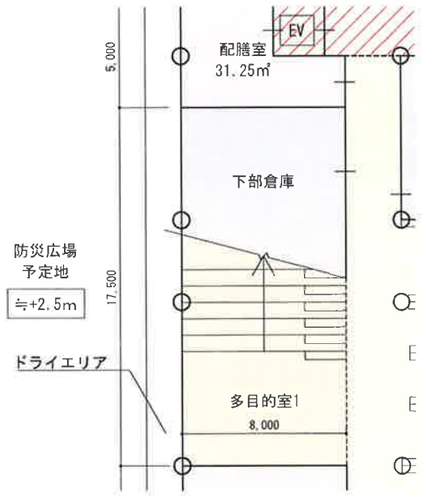


整備工程表

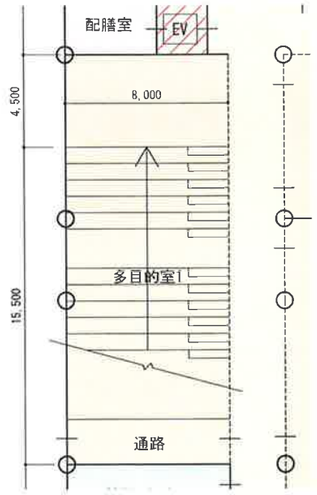
町田市立鶴川第一小学校改築工事基本・実施設計業務委託　2013.1.9

半地下空間を利用した多目的室【ステップ教室】の提案

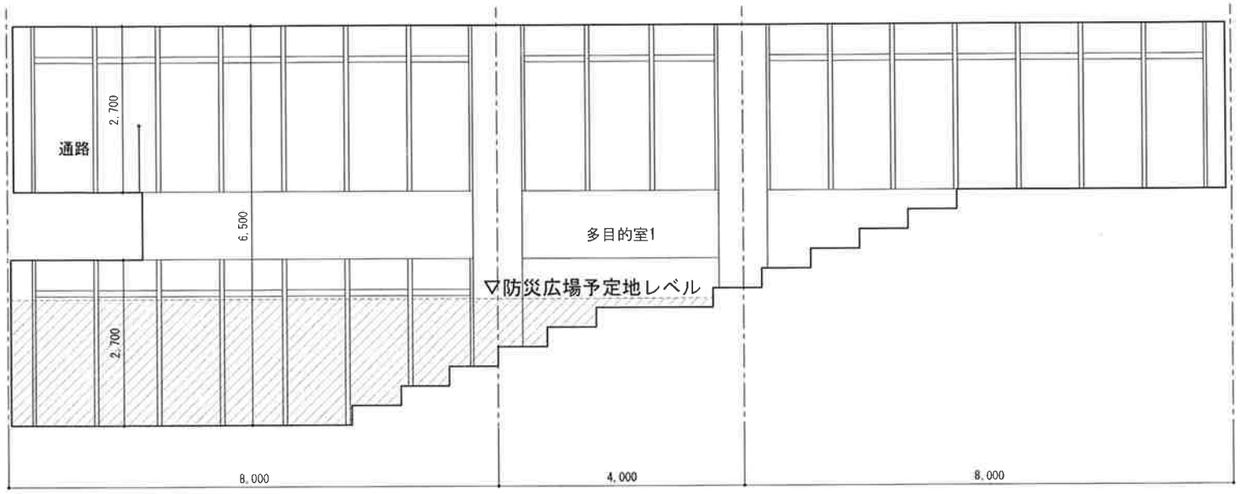
段差のある敷地のため、半地下空間になってしまう部分の有効利用を検討しました。
２階からの採光を取り入れ、且つ多目的に利用できる「ステップ教室」を提案します。
日常的な２階への動線や憩いの場として利用することが可能です。
間仕切りを閉めることで、様々な発表や集会の場として利用する事が可能です。



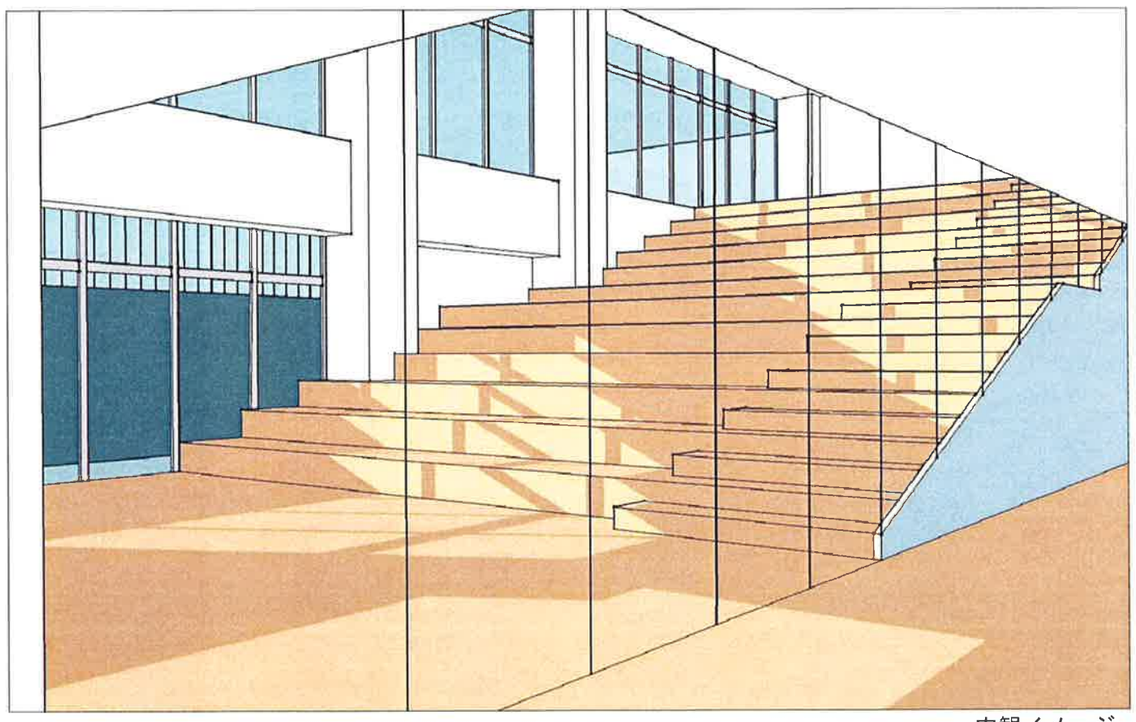
１階平面図　　Ｓ＝１：３００



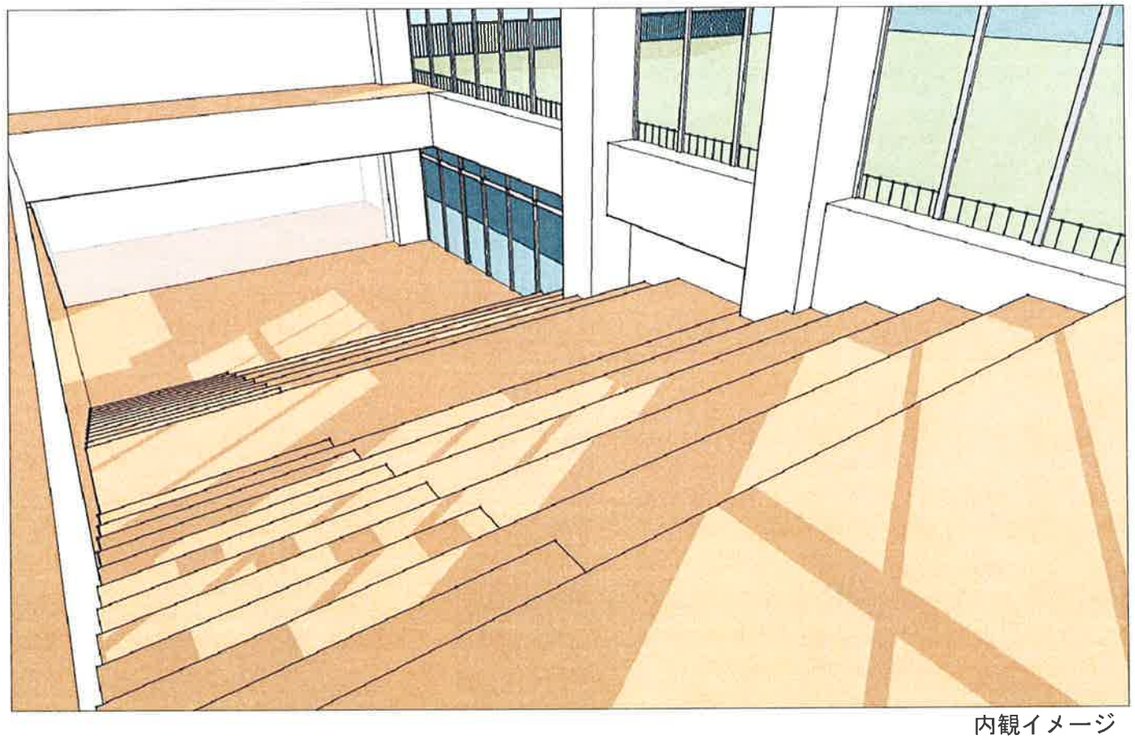
２階平面図　　Ｓ＝１：３００



展開図　　Ｓ＝１：１００



内観イメージ



内観イメージ

Ａ案　多目的室１（ステップ教室）検討図